



(令和 2 年)2020年 9 月期第 1 四半期
決算補足説明資料

2020年 2 月 7 日

新日本製薬 株式会社
証券コード：4931
東証マザーズ

- 1 第1四半期決算概要
- 2 2020年9月期決算見通し
- 3 経営課題に対する取組み

APPENDIX



1. 第1四半期決算概要

- 売上高は、増税前の駆け込み需要の反動とその後の消費落ち込みの影響を受けましたが、化粧品売上が堅調に推移しました
- 経常利益は、コストの効率化が計画通りに進捗し、利益は想定通り着地しました

(単位：百万円)

項 目	2020年9月期 第1四半期	
	金額	売上構成比
売 上 高	8,726	100.0%
化 粧 品	8,027	92.0%
ヘルスケア商品	699	8.0%
営 業 利 益	685	7.9%
経 常 利 益	703	8.1%
四 半 期 純 利 益	443	5.1%

※ 当社は、令和元年9月期第1四半期において四半期財務諸表を作成していないため、令和元年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率について記載しておりません。

- 販売チャネル別では、通信販売は堅調に推移し、卸売販売と海外販売は好調に推移しました
- マーケティング投資は、第2四半期以降の売上拡大に向け、計画通りに実施しました
- オペレーションコストは、FFコスト効率化が計画通りに進捗しました※1

(単位：百万円)

項目	2020年9月期 第1四半期	
	金額	売上構成比
<チャネル別売上高>		
通信販売	7,951	91.1%
直営店舗・卸売販売	567	6.5%
海外販売	207	2.4%
<国内外EC売上高※2>		
国内外EC売上高	850	9.7%
<マーケティング投資>		
広告宣伝費	2,640	30.3%
<オペレーションコスト>		
FFコスト	1,094	12.5%
コールセンターコスト	779	8.9%

※1:FFコスト=フルフィルメントコスト

※2:売上全体に占めるEC売上の比率

- 現預金は、法人税及び配当金支払い等により、前期末比で▲約7.7億円となりました
- 自己資本比率は72.3%と、前期末から引き続き健全な財務基盤を維持しています

(単位：百万円)

項 目	2019年9月期	2020年9月期 第1四半期	前期差異
流 動 資 産	14,693	13,995	▲698
現 預 金	10,576	9,798	▲777
売 掛 債 権	2,913	2,801	▲112
棚 卸 資 産	1,063	1,248	+185
固 定 資 産 (有形・無形・投資その他)	3,882	3,744	▲137
総 資 産	18,575	17,739	▲835
負 債	5,817	4,915	▲901
買 入 債 務	416	534	+117
未 払 金	2,297	1,899	▲397
未 払 法 人 税 等	848	227	▲620
純 資 産 合 計	12,758	12,824	+65
負 債 純 資 産 合 計	18,575	17,739	▲835

2. 2020年9月期決算見通し



- 第1四半期の実績をふまえた2020年9月期の決算見通しに変更はありません
- 増税前の駆け込み需要の反動とその後の消費落ち込みの影響は半年程度続くと想定していますが、売上高及び各段階利益では通期決算見通しの達成をめざしていきます

(単位：百万円)

項目	2020年9月期 第1四半期		2020年9月期 上期見通し		上期見通し に対する 進捗率 (①÷②)
	実績 (①)	売上 構成比	見通し (②)	売上 構成比	
売上高	8,726	100.0%	17,215	100.0%	50.7%
化粧品	8,027	92.0%	16,006	93.0%	50.1%
ヘルスケア商品	699	8.0%	1,208	7.0%	57.9%
営業利益	685	7.9%	1,069	6.2%	64.1%
経常利益	703	8.1%	1,059	6.2%	66.4%
当期純利益	443	5.1%	617	3.6%	71.8%

2020年9月期 通期		
見通し	売上 構成比	前期比 増減率
35,000	100.0%	+4.3%
32,607	93.2%	+6.6%
2,392	6.8%	▲20.1%
3,150	9.0%	+10.0%
3,130	8.9%	+10.7%
2,010	5.7%	+10.2%

- 第1四半期の実績をふまえたチャネル別売上高の通期見通し前提に変更はありません
- マーケティング投資は、獲得効率をみて投資媒体を選定し、計画通りに投資を実施予定です
- オペレーションコストは、FFコスト効率化を計画通りに進める予定です

(単位：百万円)

項目	2020年9月期 第1四半期		2020年9月期 上期見通し		上期見通し に対する 進捗率 (①÷②)
	実績 (①)	売上 構成比	見通し (②)	売上 構成比	

<チャネル別売上高>

通信販売	7,951	91.1%	15,770	91.6%	50.4%
直営店舗・卸売販売	567	6.5%	1,098	6.4%	51.6%
海外販売	207	2.4%	346	2.0%	60.0%

<国内外EC売上高>

国内外EC売上高	850	9.7%	1,616	9.4%	52.6%
----------	-----	------	-------	------	-------

<マーケティング投資>

広告宣伝費	2,640	30.3%	5,558	32.3%	47.5%
-------	-------	-------	-------	-------	-------

<オペレーションコスト>

FFコスト	1,094	12.5%	2,117	12.3%	51.7%
コールセンターコスト	779	8.9%	1,552	9.0%	50.2%

2020年9月期 通期		
見通し	売上 構成比	前期比 増減率

31,794	90.8%	+3.2%
2,443	7.0%	+13.5%
762	2.2%	+24.2%

3,235	9.2%	+14.9%
-------	------	--------

10,993	31.4%	+7.3%
--------	-------	-------

4,219	12.1%	▲7.8%
3,102	8.9%	+0.5%

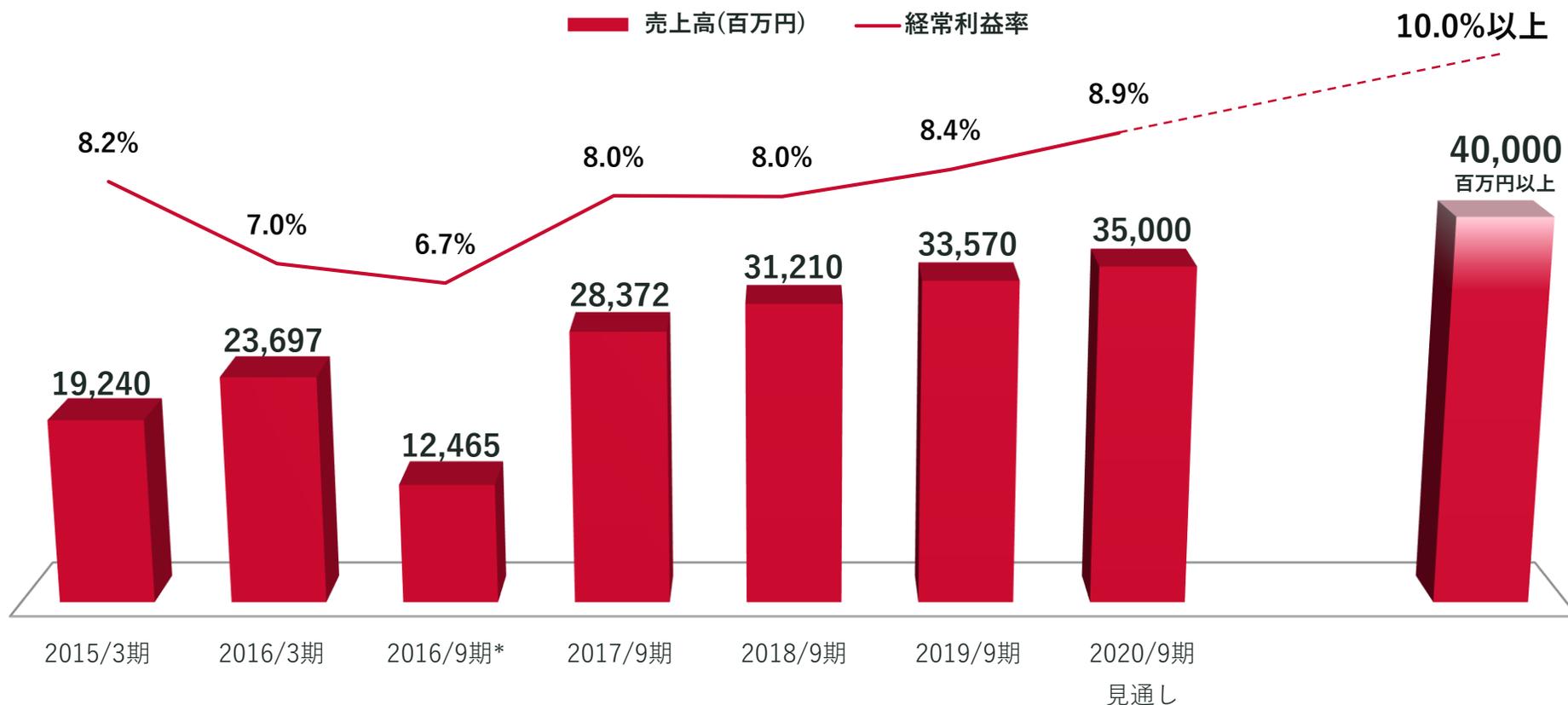
売上高

400億円以上

経常利益率

10%以上

の早期達成を実現し、さらなる成長をめざしてまいります



* 2016/9期は6か月決算

- 2020年9月期の配当は1円50銭増配の19円を計画しています
- 配当性向は20%以上を方針とし、引き続き株主還元策の検討を進めていきます

1株当たり配当金及び配当性向の推移

(円/株)	2016/9期	2017/9期	2018/9期	2019/9期	2020/9期計画
1株当たり当期純利益	71.52	147.69	174.46	113.99	93.01
1株当たり配当金	140.00	30.50	35.00	17.50	19.00
配当性向	195.8%	20.7%	20.1%	20.7% (15.4%*)	20.4%

注) 2017年9月1日付で実施した株式分割(1株につき250株)及び2019年3月1日付で実施した株式分割(1株につき10株)が、2016年9月期の期首に行われたと仮定して算出した場合の1株当たり指標の推移です
 なお、2016年9月期の1株当たり配当額については、有限責任監査法人トーマツの監査を受けていません

* 15.4%は決算短信上の配当性向(1株当たり配当額/1株当たり当期純利益額により算出)
 20.7%との差異は、2019年9月期における株式数の増加による影響です

3. 経営課題に対する取組み



パーフェクトワン オールインワンジェルシリーズ 累計販売個数が5,500万個を突破

- 500万個毎の販売個数の期間としては過去最速を記録しました(248日)
- 第1四半期のジェル販売数量も好調に推移し、前年同期比で110%となりました
- 今後も改良を重ね※1、オールインワンジェルのさらなるスタンダード化を進めます

パーフェクトワンオールインワンジェルシリーズ
累計販売実績
5,500万個[※]

※2006年5月～2019年11月販売実績
ラフィネ パーフェクトワンシリーズ含む



※1 世界で初めてパーフェクトワンがホヤ脂質、加水分解魚鱗/皮エキス（保湿成分）を化粧品（パーフェクトワン リフティングジェル）に配合（新日本製薬調べ）

- 約1カ月で販売目標比220%を達成し、多くのお客さまの反響を受け追加生産を決定しました
- 今後も、オールインワンジェルと併用できるスキンケア商品開発をさらに進めていきます



パーフェクトワン トリートメントシャンプー 拡大展開

- 2019年10月に、人気のオールインワン機能に加え、速乾機能※1を追加しリニューアル発売しました
- テストによる商品評価で人気を誇る雑誌「LDK the Beauty」※2において、ダブル受賞しました※3
- 今後は、チャネル開拓として、新たにドラッグストア※4でテスト展開予定です



1本で6つの機能

新処方

シャンプー

コンディショナー

速乾

トリートメント

ヘアパック

頭皮ケア



※1 当社製品従来比

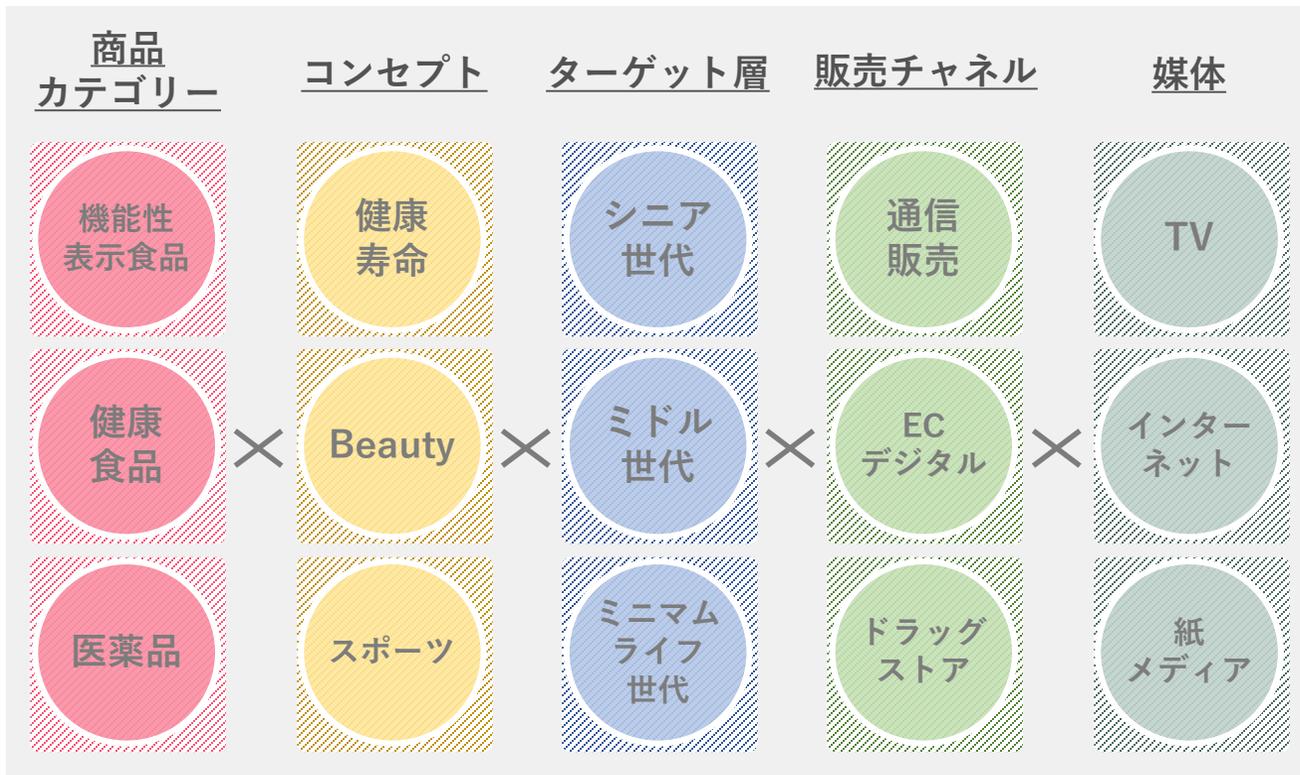
※2 2019年11月28日発売

※3・ベストコスメアワード2019 ベストコスメ オブザイヤー スキンケア編(ヘアケア部門) 【年間第1位】受賞
・最新シャンプー&コンディショナーヘアマスクABC判定(シャンプー&コンディショナーOver2000yen部門) 【Bestbuy】
【総合評価A+】受賞

※4 2020年5月よりドラッグストア(マツキヨ)で展開予定

- 新たな事業の立ち上げに向け、ヘルスケアマーケティング部門を東京オフィスに開設しました
- 開設に伴い、東京オフィスを拡張し、デジタルマーケティングをベースとした新たな事業の開発拠点として、商品開発や専門人材の確保を加速させ、事業の立ち上げに取り組んでいきます

【事業展開イメージ図】



【事業展開の具体例】

機能性表示食品キオクリーフを、2020年2月下旬より北海道を中心とするドラッグストア※1で販売開始予定。

中高年の記憶力を維持※2。
覚え、思い出す力をサポート。



※1 株式会社 サッポロドラッグストア

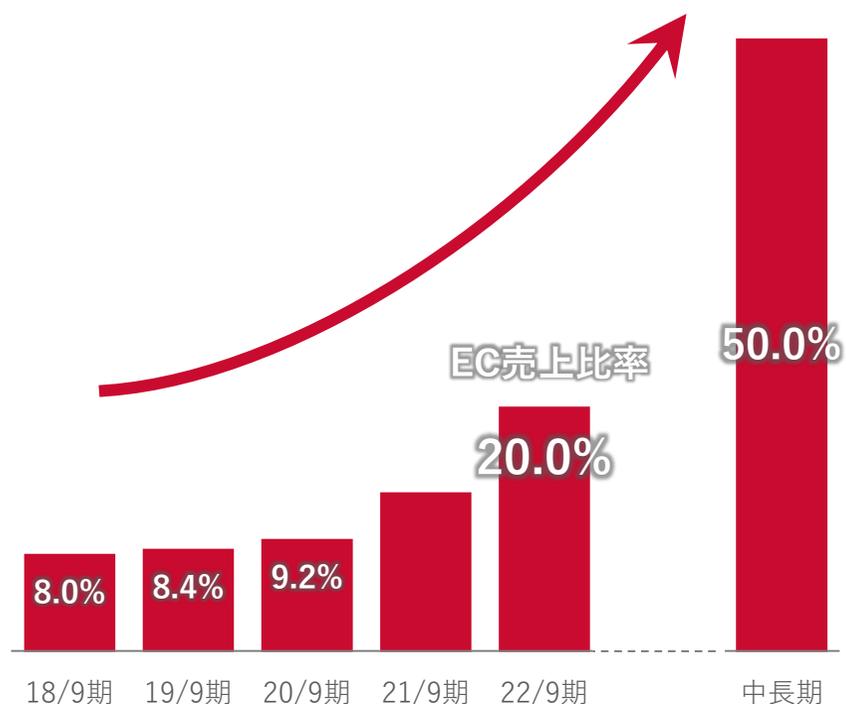
※2 言葉や図形などを覚え、思い出す能力

- EC化の加速に向けた施策のひとつとして、Googleのプラットフォームを活用したデジタルマーケティングを新たに開始しました

機械学習を駆使した検索・ショッピング広告

ターゲット層拡大に向けたYouTube 広告の活用

- 機械学習によるコンバージョン効率化と最大化
- Google全チャネル上でのユーザーアプローチの拡大
- マイクロインフルエンサー×YouTube広告の展開



機械学習
自動化

最適化
効率化
最大化

検索
ディスプレイ
YouTube
Gmail

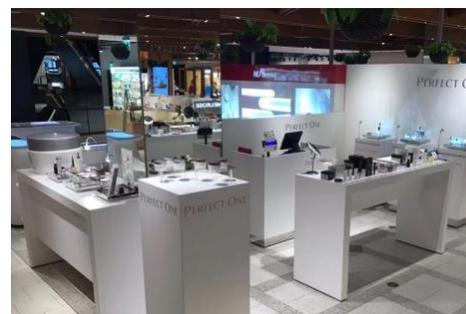
- ASEAN地域におけるブランド認知が順調に広まり、越境EC売上が好調に推移しています
- 台湾の人気美容情報番組「女人我最大」での受賞後、「誠品生活」売上が好調に推移しています
- シンガポール東急ハンズ5店舗での販売を開始し、海外でのブランド認知を拡大させていきます
- 新千歳空港内免税店での販売を開始し、インバウンド需要の取込みを進めていきます

【W11(ダブルイレブン)：中国】



W11とは、中国で11月11日独身の日に行われる大規模ECモールショッピングイベント。2019年の売上高は、前年比で約180%と好調。

【誠品生活 南西店：台湾】



誠品生活とは、誠品書店運営の洗練されたブランドが集結するセレクト百貨店。2020年1月までの期間限定オープンでしたが、売上好調のため3月まで期間延長。

【東急ハンズ：シンガポール】



シンガポールの中心に構える東急ハンズオーチャード店の様子。アジア屈指の国際都市シンガポールでの展開開始により、グローバルスタンダードブランドとしての認知拡大を図る。

【新千歳空港免税店：インバウンド】



2020年1月末より、3店舗目※となる免税店販売を新千歳空港国際線ターミナルでスタート。全国でトップクラスの訪日外国人数を誇る新千歳空港での販売により、インバウンド需要取込みを図る。

- 第1四半期の国内外EC売上比率は、計画を上回り好調に推移しました
- また、2022年9月期のEC売上比率20%達成に向け、各取組みを推進しています

国内EC

<お買い物が楽しくなるPERFECT ONEアプリ開発>

商品購入だけでなく、**美と健康に関する情報発信やサポート機能を備えたアプリを開発し**、試験運用を開始いたしました。今後は、さらなるサービスの充実を図り、**デジタルコミュニケーションを推進**していきます。

<マーケティング体制の強化>

楽天、Amazon、Yahooなどの**ECモールでの売上が好調に推移**するなか、**社内マーケティング体制を整備・強化**し、広告運用の最適化等に取り組んでいます。

海外EC

<SNSを活用した認知向上施策の継続的な実施>

2019年9月に**台湾の人気美容情報番組「女人我最大」ビューティアワードで最優秀賞を受賞**※1するなど、ASEAN地域でのパーフェクトワンブランドの認知が広がっています。今後も、継続的にKOL※2を活用したライブコマース等のプロモーション施策に取り組んでいきます。

※1 美白乳霜カテゴリ：パーフェクトワン 薬用ホワイトニングジェル
抗老精華液カテゴリ：パーフェクトワン SPクリアエッセンス
保湿面膜カテゴリ：パーフェクトワン ワンミニットが最優秀賞を受賞

※2 Key Opinion Leaderの略。専門領域を持ったインフルエンサーをさす

APPENDIX



社名	新日本製薬株式会社		
代表者	代表取締役社長 後藤 孝洋		
設立年月	1992年3月		
本社所在地	福岡県福岡市中央区大手門一丁目4-7		
資本金	3,826（百万円）〔2019年12月31日現在〕		
役員構成	代表取締役社長 後藤 孝洋 常務取締役 福原 光佳 取締役 羽鳥 成一郎 取締役 田上 和宏	取締役(社外) 取締役(社外) 常勤監査役(社外) 監査役(社外) 監査役(社外)	柿尾 正之 村上 晴紀 善明 啓一 田邊 俊 中西 裕二
事業内容	化粧品、健康食品、医薬品の企画及び通信販売・店舗販売・卸売販売		
売上高	33,570（百万円）〔2019年9月期〕		
拠点	福岡本社、東京オフィス、直営店12店舗、岩国研究所、吉塚オフィス(研究開発室)、物流センター (2019年12月31日現在)		

ビジョン

世界中の人々の健やかで心豊かな暮らしを創造します

ドメイン

One to One health & beauty-care.

データベースマーケティングによる
美と健康のライフスタイル創造カンパニー

年月	概要
1992年 3月	福岡県大野城市東大利に生活用品の企画・販売会社として株式会社新日本リビング（現 当社）を設立（資本金10,000千円）
1994年 7月	健康食品の通信販売を開始
1996年 6月	福岡県大野城市乙金東に本店を移転
2000年12月	基礎化粧品の通信販売を開始
2002年 4月	株式会社新日本リビングが新日本製薬株式会社に商号変更
2003年 3月	福岡県福岡市博多区吉塚に物流センターを開設
4月	福岡県福岡市博多区吉塚に本店を移転
2005年 5月	化粧品ブランド「R A f f I N E(ラフィネ)シリーズ」を発売
2006年 5月	福岡県福岡市中央区赤坂に本店を移転
5月	ラフィネ パーフェクトワンを発売
10月	薬用植物の栽培研究拠点である「岩国本郷研究所」を開設（現 岩国研究所）
11月	医薬品の通信販売を開始
2010年 3月	福岡パルコに当社初の直営店舗をオープン
7月	東京都千代田区内幸町に東京営業所開設
2012年 4月	「R A f f I N E(ラフィネ)シリーズ」の卸売販売を開始
2013年10月	福岡県福岡市中央区大手門に本店を移転
2014年 4月	化粧品ブランド名を「P E R F E C T O N E(パーフェクトワン)」へ変更
2016年12月	海外(台湾市場)で通信販売を開始
2018年 9月	中国市場で越境ECを開始
2019年 6月	東京証券取引所マザーズ上場
2020年 1月	東京都千代田区の丸の内ビルディングへ東京オフィス移転

決算年月		2015年3月	2016年3月	2016年9月*	2017年9月	2018年9月	2019年9月
売上高	百万円	19,240	23,697	12,465	28,372	31,210	33,570
経常利益	百万円	1,583	1,663	839	2,275	2,499	2,828
当期純利益	百万円	818	1,082	715	1,477	1,751	1,824
資本金	百万円	200	200	200	220	250	3,826
発行済株式総数	株	4,000	4,000	4,000	1,003,630	1,009,630	21,611,300
純資産額	百万円	995	1,635	2,583	2,685	4,191	12,758
総資産額	百万円	4,526	6,288	7,379	8,560	9,491	18,575
自己資本比率	%	22.0	25.1	34.2	30.7	43.6	68.7
自己資本利益率	%	89.1	84.1	34.8	57.3	51.8	21.6
配当性向	%	61.1	55.4	195.8	20.7	20.1	15.4
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	-	-	-	2,372	1,415	1,992
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	-	-	-	△280	△420	△943
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	-	-	-	△1,546	△419	6,567
現金及び現金同等物の 期末残高	百万円	-	-	-	2,377	2,954	10,576
従業員数(臨時雇用者除く)	名	287	291	326	346	361	354

*2016年9月期は、決算期変更により、2016年4月から2016年9月までの6ヵ月間となっております。

1株当たり純資産額	円	99.57	157.86	252.67	261.97	409.58	590.37
1株当たり当期純利益	円	81.85	108.27	71.52	147.69	174.46	113.99
1株当たり配当額	円	50.00	60.00	140.00	30.50	35.00	17.50

本表は、2017年9月1日付で実施した株式分割(1株につき250株)及び2019年3月1日付で実施した株式分割(1株につき10株)が、2014年3月期の期首に行われたと仮定して算出した場合の1株当たり指標の推移です。なお、2014年3月期から2016年9月期の数値(1株当たり配当額についてはすべての数値)については、有限責任監査法人トーマツの監査を受けておりません。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

< IR問い合わせ先 >

新日本製薬 経営企画課IR担当

TEL:092-303-8318 FAX:092-720-5819

新日本製薬HP お問い合わせフォームまで



新日本製薬